

2016年 代表挨拶

新年明けましておめでとうございます。

ここ数年、原油などのコモディティ価格が低下、中国をはじめとする新興国経済発展が失速、中東情勢は一層混迷緊迫が広がるなど、「不確実性が常在する状態」は世界的にますます加速し、その規模は拡大が進んでいます。上場企業不適切会計、自動車排ガス規制偽装、マンション杭施工不正、薬品不正製造、個人情報漏洩、さらにこれらの問題隠蔽など、個人の日常においても「生活のあらゆる場面で不確実性が存在する」と考えておくことが常識となりつつあります。

企業にとっては、TPP、FTA など国際交渉が活発化し事業の世界展開が加速する一方で、国内で品質や情報の信頼性低下が起こり、世界基準あるいはそれに準ずる仕組みへ想定以上の速さで適正に取り組むことが要求され、その対象は製品やサービスだけでなく、会計、雇用、安全、環境などに対する責任など、“企業のあり方”といったような要素にまで及んでいます。

企業が存続し持続的に成長するためには、品質・健康・安全・環境に対する「ガバナンス」「コンプライアンス」、さらに「社会的責任」を担保することがこれまで以上に不可欠な要素となっています。「確実に実施されている」ことだけでなく、「確実さが検証され、またそのことを十分に内外に説明できる」ことが求められています。

ビューローベリタスは、1828年に船級協会として設立以来、法令・規格への適合性評価サービスを世界各国で展開してまいりました。今日では、世界最大級の第三者試験・検査・認証(Testing, Inspection & Certification)機関として、「QHSE & Social Responsibility(品質、健康・安全、環境及び社会的責任)」分野のコンプライアンス確認を通じ、顧客企業の皆様の事業活動に対する確実性の担保を含め安心、信用を守るお手伝いをしております。

日本においては1953年に船級協会の検査員事務所を開設以来、あらゆる産業界における第三者試験・検査・認証機関の役割を全うしてまいりましたが、近年では国内外の法令・規格に基づく医療機器認証、社会の持続性に関する認証やサポート、資産ストックの価値保全に関するサービスを開始するなど事業領域を継続的に拡充し、更なる質の向上に努めております。ビューローベリタスの歴史に裏打ちされた経験、高い専門性、グローバルなネットワークを基盤に、2016年もお客様の事業推進の確実性を守る高品質なサービスを供給するパートナーとなるべく、日々邁進致します。

今年が皆様にとって一層良い年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

2016年1月4日

ビューローベリタスジャパン株式会社 代表取締役社長

佐々木 泰介

佐々木泰介



Move Forward with Confidence